| 学校番号 | T3016 |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | わかりやすい<br>日本史 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２・４年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史に親しみを持ち、時代の流れを理解する。
・多角的な視点で歴史的事象を捉える。

## ２　学習の到達目標

・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ，まとめる技能を身に付けるようにする。
・我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 各事象の意味や意義についての基本的な内容を理解している。<br>資料（絵）から歴史に関わる情報を適切に読み取ったり，年表などにまとめたりできる。 | 現在の私たちの生活や文化とのつながりなどに着目して，歴史上の人物や文化財，出来事などから適切なものを取り上げ，考察し表現できる。 | 歴史を継承しつつ，現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 歴史の流れと時代区分 | 第1節　年代の表し方と時代区分<br>第2節　歴史の調査法<br>第3節　問いの立て方とまとめ方 | a：年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。<br>b：時期や年代，推移，現在の私たちとのつながりなどに着目して，歴史上の人物や文化財，出来事などから適切なものを取り上げ，時代区分との関わりなどについて考察し表現している。<br>c：過去を継承しつつ，現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 古代 | 第1節　人類の登場から文明の発生へ<br>第2節　東アジアの中の倭（日本）<br>第3節　中国にならった国家づくり<br>第4節　展開する天皇・貴族の政治 | a:日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰，大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に，東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。<br>b:東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化に着目して，東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c:古代の文化と東アジアとの関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート |
| | 中世 | 第1節　武士の世の始まり<br>第2節　武家政権の内と外<br>第3節　人々の結び付きが強まる社会 | a:鎌倉幕府の成立などをもとに，武士が台頭して，主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し，その支配が広まったことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。<br>b:武士の政治への進出と展開や貴族の政治との違いに着目して，武家政治の特徴を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，古代から中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c:武家政治の成立とユーラシアの交流について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 近世 | 第1節　武士による全国支配の完成<br>第2節　天下泰平の世の中<br>第3節　社会の変化と幕府の対策<br>第４節　欧米諸国における「近代化」<br>第5節　開国と幕府の終わり<br>第6節　明治政府による「近代化」の始まり | a:江戸幕府の成立と大名統制，身分制と農村の様子，鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に，幕府と藩による支配が確立したことを理解している。<br>b:近世の日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c:近世の日本について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート |
| | 近現代 | 第1節　近代国家への歩み<br>第2節　帝国主義と日本<br>第3節　第一次世界大戦と民族独立の動き<br>第4節　高まるデモクラシーの意識<br>第5節　戦争に向かう世論<br>第6節　第二次世界大戦の惨禍<br>第7節　敗戦から立ち直る日本<br>第8節　これからの日本と世界 | a:経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦が始まるまでの日本の政治・外交の動きなどをもとに，軍部の台頭から戦争までの経過を理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。<br>b:経済の変化の政治への影響，戦争に向かう時期の社会や生活の変化に着目して，二度目の世界大戦が起こった背景を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c:経済の世界的な混乱と社会問題の発生などについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度